ぼんじゅブレスレット

梵珠少年自然の家

1　活動のねらい

・パラコードの編み込みの面白さや規則的な美しさに気づく

・編み込み方を友達と教え合いながら活動し、それぞれできあがった作品の良さを認め合う。

【教科への対応】　小学校：図画工作など　　中学校：美術、技術・家庭など

2　活動の概要

「スネークノット」「コブラノット」のどちらかの方法でパラコードを編み込み、オリジナルのブレスレットを作る活動です。

スネークノット

コブラノット

＜作品例＞

(1) 人数　１６０人以内

(2) 対象　小学５年生～中学生・高校生

(3) 期間　通年

(4) 時間　１.５時間（説明２０分＋活動７０分）

(5) 場所　体育館、研修室１・２、キャンプセンター

(6) 経費　１００円／１作品

(7) 指導　製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3　準備物

団　　体	救急薬品
個　　人	特になし
自然の家	材　料：パラコード（各色） 道　具：作業版、セロテープ、ライター、はさみ、スプーン、１mのものさし その他：バケツ水

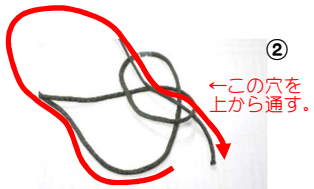
4　引率者の役割分担

代表責任者	１名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5　活動の流れ

<table>
<tr><th></th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>説　明</td><td>・参考作品を提示しながら、作り方「スネークノット」「コブラノット」について説明（動画視聴）
・用具の準備と安全について説明</td></tr>
<tr><td>活　動</td><td>①　パラコードを切る。（スネークノットは 2.3m、コブラノットは 2.5mの長さ）
※　２色で作る場合は、各色半分の長さで２本切る。
②　切った端をライターであぶって溶かし、スプーンで固めてほつれないようにする。
２色で作る場合は、先端を溶かし、冷え固まる前に押し当てて結合させます。
※くっつきやすくするため、中の芯は２cm 程度切るとよい。
③　「スネークノット」「コブラノット」どちらかの方法で編み込む
・中心部分を１カ所、作業版にセロハンテープで固定すると作業しやすい。
（スネークノットは上部１か所、コブラノットは下部１か所）

≪スネークノット≫

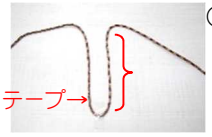
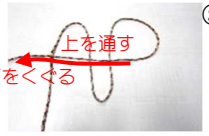
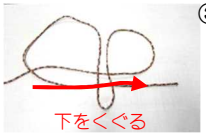
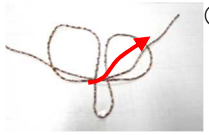
左のコードで「６」を描く
 
右のコードを左上方向から矢印の穴に上から通す。

左右のコードを締め付ける。

手首に合わせ 20～25 回程度繰り返す。

セロテープ止めの部分に２本のコードを通す。

完成。

≪コブラノット≫
 
真ん中部分の長さを手首１周分より少し短くする。
 
右側コードで中２本の上、左の下を通す。
 
左のコードで中央の２本の下をくぐる。
 
右の穴を下からくぐらせる。

左右のコードを締め付ける。

②から⑤を、今度は左側コードから繰り返す。

セロテープ部分まで、30 回程度繰り返す

セロテープの輪にそれぞれ上下からコードを通し、できた輪に端をくぐらせて引く。

編み込みをスタートした部分のコードを引き、輪を作る。そこにコードの端を通す。

止め結びをする。

完成。</td></tr>
<tr><td>まとめ</td><td>・感想発表や友達の作品の鑑賞
・用具の返却と後片づけ</td></tr>
</table>

6　安全に実施するためのポイント

・パラコードの先端をライターで溶かす際、やけどに注意する。

・やけど防止用のバケツ水を用意する。